

このアンケートでは、都道府県・指定都市が実施する障害者ピアサポート研修に関して
お尋ねするものです。

1. 回答する方についてお聞きします。

1) 年齢 () 歳

2) 性別 男性 女性 その他

3) ご自身の障害等領域について教えてください。

身体障害領域

知的障害領域

精神障害領域

発達障害領域

高次脳機能障害領域

難病領域

なし

その他 ()

4) 講師またはファシリテーターとして障害者ピアサポート研修に参加された回数（令和 2 年
度/2020 年度～回答日時点まで）を教えてください。

基礎研修		専門研修		フォローアップ研修	
講師：	回	講師：	回	講師：	回
ファシリ：	回	ファシリ：	回	ファシリ：	回

5) 講師またはファシリテーターとして担当された自治体数を教えてください。
また、自治体名が分かる場合は、自由記述欄にご記入ください。

自治体数： () 自治体

自治体名： ()

6) 障害者ピアサポート研修において、講師またはファシリテーターとして登壇する以外に、
研修実施に向けた検討会などの企画・運営に携わった経験はありますか？

はい

いいえ

2. 講師・ファシリテーターの立場から見て、研修参加全般に関する工夫（基盤的環境整備⁽¹⁾、合理的配慮⁽²⁾に関する事項）のうち、大切だと思う項目を最大5つまで選び、☑をお付けください。

- 1) 基盤的環境整備：障害のある人が社会生活を送る上で、誰もが平等に利用できるような環境を社会全体で整えること。合理的配慮の基盤となるもので、物理的な環境の整備や制度の整備などが含まれる。
- 2) 合理的配慮：障害のある人から「社会の中にあるバリア（障壁）を取り除くために何らかの対応が必要」との意思が伝えられたときに、行政機関等や事業者が、負担が重すぎない範囲で必要かつ合理的な対応を行うこと。

		基盤的環境整備	合理的配慮
1	開催時期の調整（冬季を避けて天候の良い時期に開催等）	<input type="checkbox"/>	
2	適切な会場確保（バリアフリー、交通の利便性、別室の準備）	<input type="checkbox"/>	
3	十分な休憩時間の確保	<input type="checkbox"/>	
4	周知に関する工夫（広報誌、ホームページ）	<input type="checkbox"/>	
5	複数の申し込み方法の準備（オンライン、紙面、メールなど）	<input type="checkbox"/>	
6	必要な配慮についての事前の確認	<input type="checkbox"/>	
7	要約筆記や失語症意思疎通支援者の必要性の確認	<input type="checkbox"/>	
8	聴覚障害のある人に対する手話通訳の手配	<input type="checkbox"/>	
9	視覚障害の方への配慮（資料の点字化など）	<input type="checkbox"/>	
10	グループ間の距離を離す（例：聴覚過敏のある方向けの会場設営）	<input type="checkbox"/>	
11	グループ間の距離を近くする（例：難聴の方向けの会場設営）	<input type="checkbox"/>	
12	要望に応じた資料作成（大きく印刷、デジタルファイル化、ルビ）	<input type="checkbox"/>	
13	独自のスライド資料を用いる（例示スライドからの内容の修正）	<input type="checkbox"/>	
14	専門用語・テクニカルタームへの対応	<input type="checkbox"/>	
15	講義だけでなく他の方法を用いる（寸劇、映像）	<input type="checkbox"/>	
16	各講義・演習の時間配分の検討	<input type="checkbox"/>	
17	少なくとも1週間前からの講義資料配布	<input type="checkbox"/>	
18	刺激遮断等のためのパーテーション設置	<input type="checkbox"/>	
19	少なくとも1週間前からの課題の事前提示・演習シートの事前配布	<input type="checkbox"/>	
20	緊急連絡先の事前周知（事務局携帯など）	<input type="checkbox"/>	
21	会場内案内（会場、トイレ、休憩スペース）のポスター掲出		<input type="checkbox"/>
22	事例検討をサポートするような独自資料の作成・配布		<input type="checkbox"/>
23	研修実施中の理解度の確認		<input type="checkbox"/>
24	提供した合理的配慮に関するアンケートの事後実施		<input type="checkbox"/>
25	途中退場した方へのフォロー		<input type="checkbox"/>
26	次期研修会のファシリテーターの希望調査		<input type="checkbox"/>

- 7) 研修を振り返って、求められた合理的配慮に対して対応が難しかった点や実施できなかった内容があれば、理由も含めて教えてください。

3. 会場及び部屋

会場および部屋の確保において、工夫していることや課題と感じている点があれば教えてください。特に、専門研修で管理者とピアサポーターが別々の場所で受講する科目に関して、会場確保における工夫や課題についてもご回答ください。

- 8) 会場及び部屋の確保にあたっての課題はありましたか？

- はい
いいえ
わからない/関与していない

- 9) (上記8で「はい」と答えた方) どのような課題があったかについて教えてください。

- 10) 会場及び部屋の確保にあたって工夫したことがあれば教えてください

4. 障害者ピアサポート研修全般について

- 11) 演習が円滑に進めるために行った工夫はありますか？

- 特になし
ホワイトボード、どこでもシート、ポストイットなどの文具の使用
ファシリテーター用の台本
ファシリテーター用のヒント集・ポイント集
ひとつのグループに複数名のファシリテーターの配置
ファシリテーター向けの事前研修への参加
その他 ()

- 12) 専門研修において、一部の講義と演習で専門職と当事者が分かれることについて、研修を実施する中で気付いたことや、ご意見があればお聞かせください。

6. 専門研修のカリキュラムに関するご意見を教えてください。

※詳細版は別紙「基礎専門研修シラバス」

1日目		
科目名	時間数	内容
講義	540分	
1 基礎研修の振り返り	30分	・基礎研修の振り返り
2 ピアサポーターの基礎と専門性	40分	・障害特性に応じた専門性
3 演習①	60分	・講義「ピアサポーターの基礎と専門性」の振り返り、気づきの共有
4 ピアサポートの専門性の活用	40分	・障害特性に応じたピアサポートの専門性を活かすための視点
5 演習②	30分	・講義「ピアサポートの専門性の活用」の振り返り、気づきの共有
6 関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実際（障害者）	各40分	・関連法、関連施策
6 ピアサポートを活用する技術と仕組み（事業所）		・現場におけるピアサポートの活用方法
7 演習③（障害者）	各40分	・講義「関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実際」の振り返り、気づきの共有
7 演習③（事業所）		・講義「ピアサポートを活用する技術と仕組み」の振り返り、気づきの共有
8 演習④	20分	・障害者、事業所職員別講義及び演習内容についての共有
2日目		
9 ピアサポーターとしての働き方（障害者）	各30分	・労働法規
9 ピアサポーターを活かす雇用（事業所）		・ピアサポーターを雇用し、協働する上での留意点
10 演習（障害者）⑤	各40分	・講義「ピアサポーターとしての働き方」の振り返り、気づきの共有
10 演習（事業所）⑤		・講義「ピアサポーターを活かす雇用」の振り返り、気づきの共有
11 セルフマネジメントとバウンダリー	30分	・ピアサポーターが葛藤しやすい状況 ・病気や障害を抱えて働く上でのセルフケア
12 演習⑥	40分	・講義「セルフマネジメントとバウンダリー」の振り返り、気づきの共有
13 チームアプローチ	40分	・所属機関（チーム）におけるピアサポーターの役割と協働における留意点
14 演習⑦	60分	・講義「チームアプローチ」の振り返り、気づきの共有

※2、4、11は、ピアサポーター又はこれに準ずる障害当事者が講師であること

※13は、ピアサポーター又はこれに準ずる障害当事者及び専門職が講師であること

⑤ 演習のテーマについて講義の中で触れられていましたか？

- 十分に触れられていた
- 部分的に触れられていなかった (具体的に：)
- ほぼ/まったく触れられていなかった (具体的に：)
- わからない

⑥ この科目で特化して行なった合理的配慮があれば教えてください。

2. ピアサポーターの基礎と専門性、演習①

① 講師またはファシリテーターとして参加しましたか？

- はい (講師、 ファシリテーター、 両方) → 以下の②～⑥へ
- いいえ → 3. ピアサポートの専門性の活用、演習②へ

② この科目で使用した資料を教えてください。

- 基礎研修テキスト (令和3年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業成果物)
- 障害者ピアサポート研修普及協会のスライド
- 障害者ピアサポート研修普及協会のスライドを一部変更・修正したもの
- 講師が独自に作成・準備したスライド
- わからない
- その他 ()

③ 他の専門研修科目の中で、この科目の内容と重複しているものはありましたか？

- なし
- あり (具体的に：)
- わからない

④ この科目の内容や時間配分等について、ご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

⑤ 演習のテーマについて講義の中で触れられていましたか？

- 十分に触れられていた
- 部分的に触れられていなかった (具体的に：)
- ほぼ/まったく触れられていなかった (具体的に：)
- わからない

7. フォローアップ研修のカリキュラムに関するご意見を教えてください。

21) フォローアップ研修に講師またはファシリテーターとして参加したことがありますか？

- 参加したことがない → 問8 (p.23) へ
- 参加したことがある → 以下の22)～25) へ

22) フォローアップ研修全体の内容について、ご意見や感想があれば、忌憚なくお寄せください。

23) フォローアップ研修の中で最も重視していた点を1つ選んでください。

- 特になし
- 受講者全員が障害者ピアサポート研修を完了できる (途中退場者をださない)
- 受講しやすい物理的環境整備 (パーテーション設置、会場の選定等)
- 受講者同士が支え合う雰囲気
- どのような障害のひとつであっても理解しやすい講義・演習
- その他 ()

24) 講師・ファシリテーターから見た講義・演習の時間の適切性について教えてください。

- 適切だった
- 長すぎた (集中力が続かない様子の人 等)
- 短すぎた (扱う内容が多く、時間内に収まらない 等)

25) これまでに講師またはファシリテーターとして参加された科目に☑をつけてください。
 また、追加した科目があれば「その他」の欄にご記入ください。

	科目名	時間数	内容	参加 ☑
	講義			
1	専門研修の振り返り	30分	専門研修の振り返り	<input type="checkbox"/>
2	障害特性	60分	障害領域ごとの障害特性	<input type="checkbox"/>
3	働くことの意義	30分	ピアサポーターとして働き続けることが職場にもたらす効果について理解する	<input type="checkbox"/>
4	演習①	60分	講義「働くことの意義」の振り返り、気づきの共有	<input type="checkbox"/>
5	障害者雇用	40分	障害者雇用の実際と留意点について学ぶ	<input type="checkbox"/>
6	演習②	60分	講義「障害者雇用」の振り返り、気づきの共有	<input type="checkbox"/>
7	ピアサポーターとしての継続的な就労	60分	ピアサポーターとしての能力を発揮し、働き続けるために必要なポイントについて学ぶ	<input type="checkbox"/>
8	ピアサポーターとしての効果的なコミュニケーション技法	60分	ピアサポーターとして、さまざまな人と関わる上で、その場所や相手、目的にふさわしいコミュニケーション技法について事例検討等を通じて体感する	<input type="checkbox"/>
9	演習③	70分	講義「ピアサポーターとしての効果的なコミュニケーション技法」の振り返り、気づきの共有	<input type="checkbox"/>
10	ピアサポーターとして現場で効果的に力を発揮するための準備	30分	今、なぜピアサポートなのかということに立ち返り、ピアサポーターとして、力を発揮する上で、必要な事柄について認識を深める	<input type="checkbox"/>
11	演習④	40分	講義「ピアサポーターとして現場で効果的に力を発揮するための準備」の振り返り、気づきの共有	<input type="checkbox"/>
12	その他 ()	分	()	<input type="checkbox"/>

